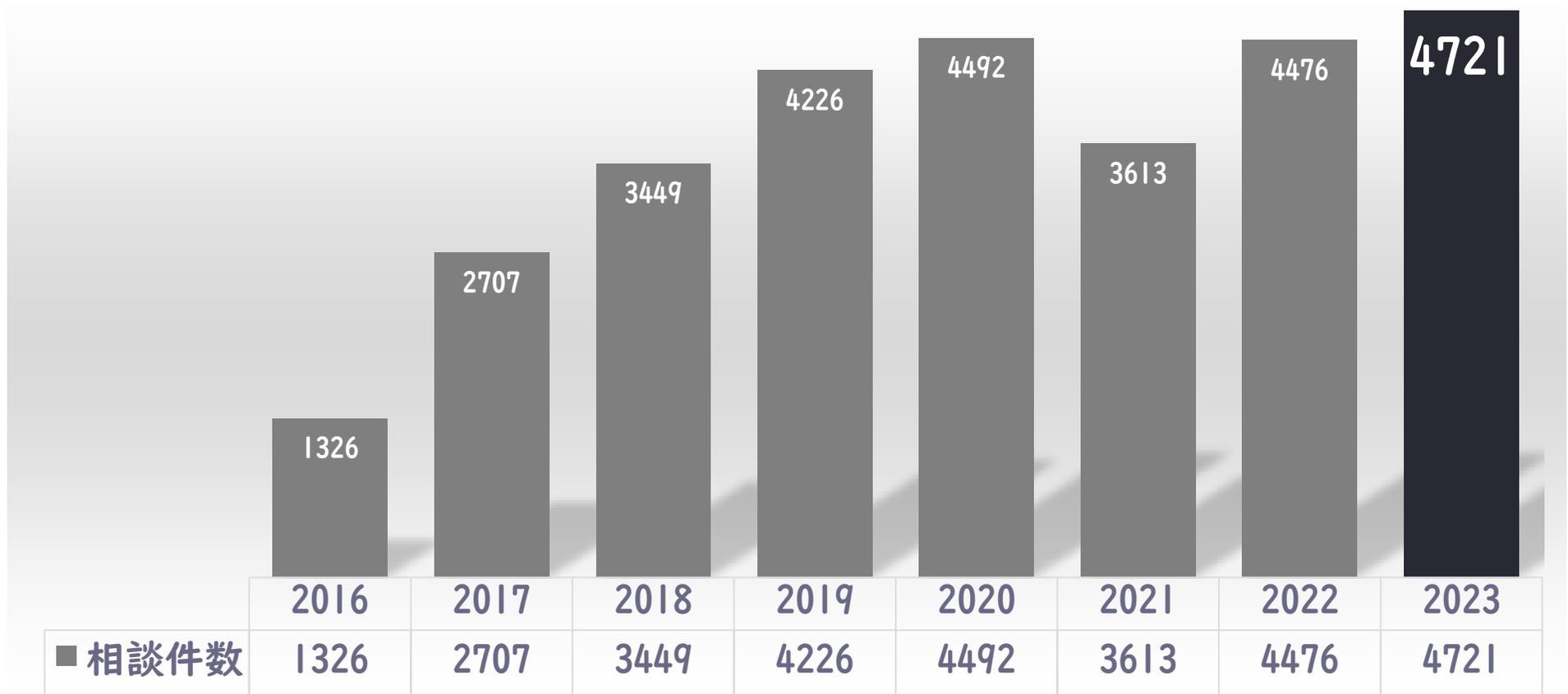


西鳥取・下荘地域包括支援センター

令和5年度 事業報告-概要版-

社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会
阪南市西鳥取・下荘地域包括支援センター
令和6年3月

総合相談件数-包括開設年度より-



- ・ 80～89歳の相談が約60%
- ・ 本人や家族以外からの相談経路は、ケアマネジャー、関係機関、医療機関、民生委員・福祉委員（地域活動者）の順に多くなっています
- ・ 医療、認知症、家族関係に関する内容の相談が上位を占めています

特徴的な相談事例

独居男性高齢者 家族：遠方⇒疎遠 近隣⇒関係不良



財産管理
入院や手術
施設入所
契約行為



サービス
や近隣の
見守り、制
度の限界



家族を中心に
キーとなる存在
が必要

元気なときから
家族等との
関係づくりを

*家族以外の支援の充実化

*全てを拒否して、孤立死に至る事例も

権利擁護に関する相談件数

相談内容内訳	相談件数
権利擁護	19
成年後見等	79
虐待関係	27
消費者被害	2
財産・経済問題	92
その他	5
合計	224

権利擁護に関する相談内容

成年後見、財産管理や経済的な問題に関する相談が増加



認知症による日常生活への影響

- ・ 財産管理が不十分
- ・ 契約行為に不安
- ・ 正しい判断や理解が難しい など



ケアマネジャーからの相談が多い



弁護士会や司法書士会との連携
成年後見制度を含めた支援調整

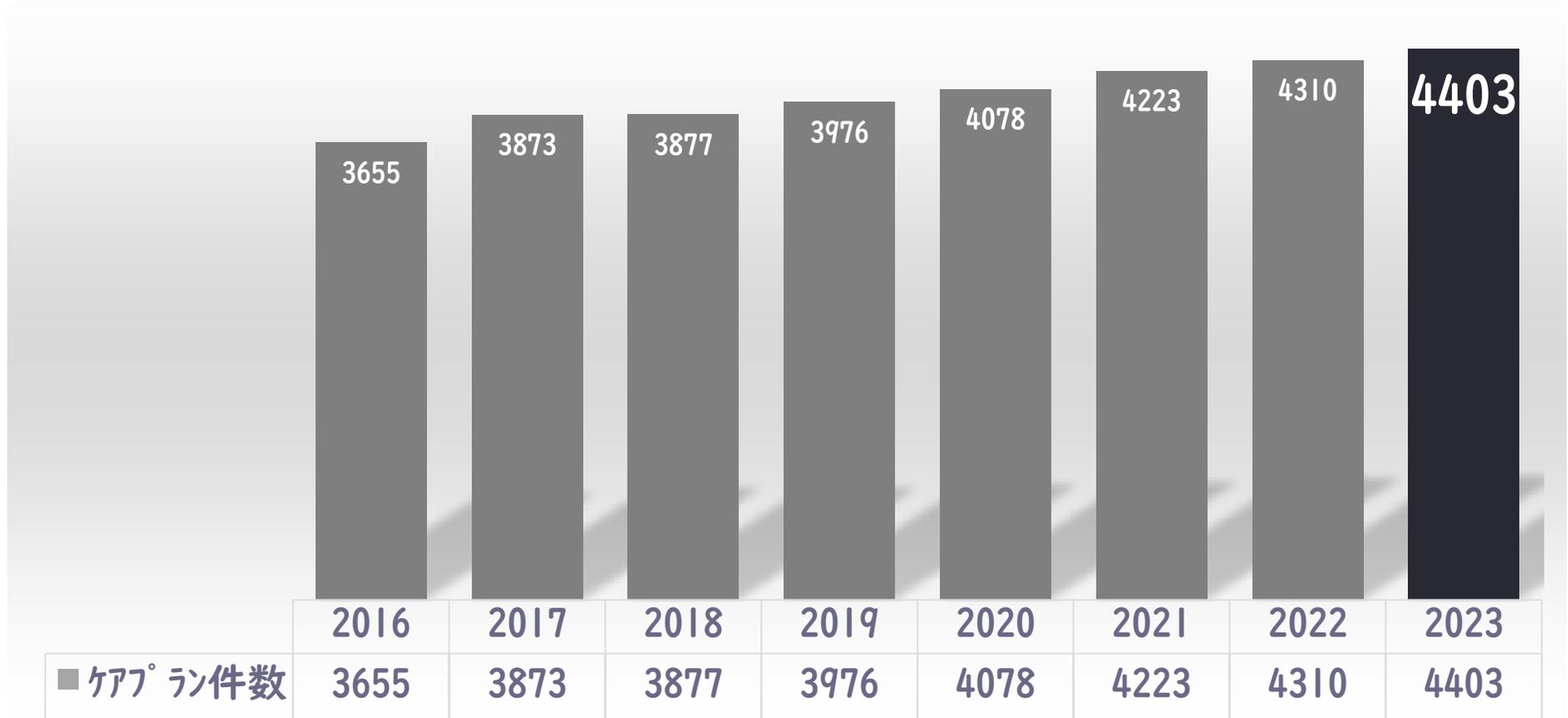


弁護士や司法書士との関係づくり
⇒ 弁護士会の講師を招き学習会
来年度も継続して進めていく

ケアプラン

ケアプラン作成件数-包括開設年度より-

*要支援認定者



- ・ 総ケアプラン数は増加（包括作成分が増加、委託分が減少傾向）
- ・ ケアマネジャーやサービス事業所の担い手不足により、サービス調整が難航する事例の増加⇒特に要支援者は軽度の方が多いこともあり、よりサービスを必要とする方重視の傾向

ケアマネジャーへの後方支援（ケアマネジャー部会事務局）

東西包括主催
ケアマネジャー向け資質向上研修

「虐待ケース対応について」



講師：峯山 建道氏
河内長野市地域包括支援センター長
(大阪介護支援専門員協会理事)

「在宅支援時、虐待の現場に遭遇すること
も多いという声をもとに開催」
今後も引き続き虐待防止の意識向上へ

ケアマネジャー部会
講師を招いた学習会の開催

「ケアマネジャーのための糖尿病入門」



講師：島田 健氏
しまだ健やかクリニック 院長

糖尿病患者が生活習慣を変えるきっかけに
なるコミュニケーションの取り方を学ぶ

阪南市医療と介護の多職種連携（はなていネット部会事務局）

ケアマネジャー、病院、施設、訪問看護、訪問介護、通所の事業所が集まる部会の事務局



専門職間で
地域の課題を考える

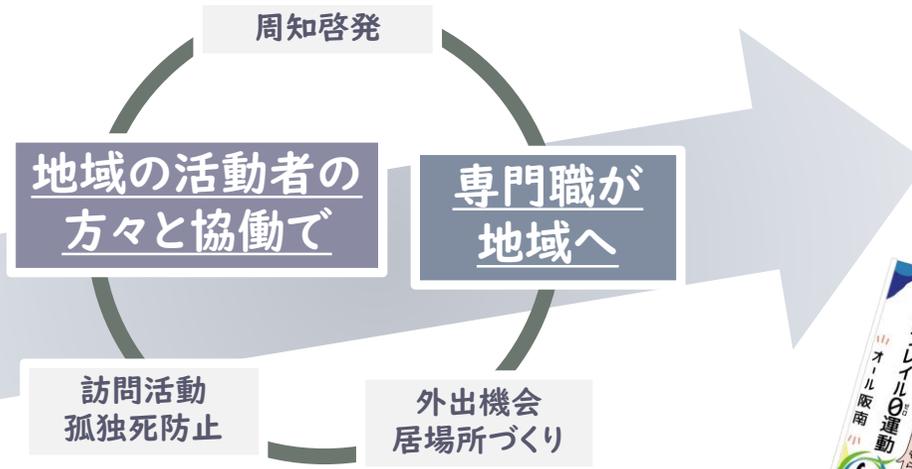
専門職同士の横のつながりを強め、
目指すは地域共生社会！



地域へ出向いた活動や地域
活動者の声の共有

介護予防・健康づくり～フレイル対策～

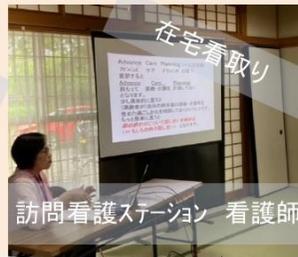
フレイルゼロに向けた方向性



フレイルゼロ運動
出前講座
西全域
19回
延べ人数
6人

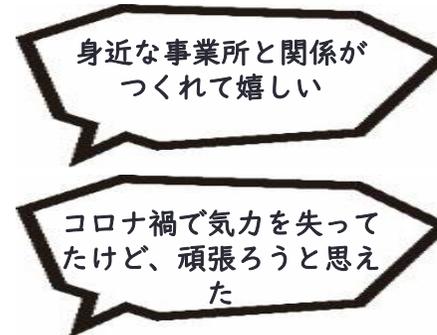


地域活動の活性化がカギ・フレイル高齢者ゼロをめざして



はなていネット
理学療法士、看護師、栄養士、
ケアマネジャー、社会福祉士、
デイサービス職員等

地域へ出向いて
住民と一緒にフレイル対策



当事者組織支援～パーキンソン病患者会：あざみ会事務局～

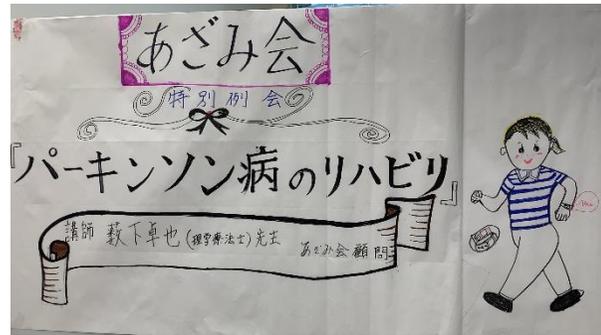
あざみ会の活動支援

令和5年度 活動計画

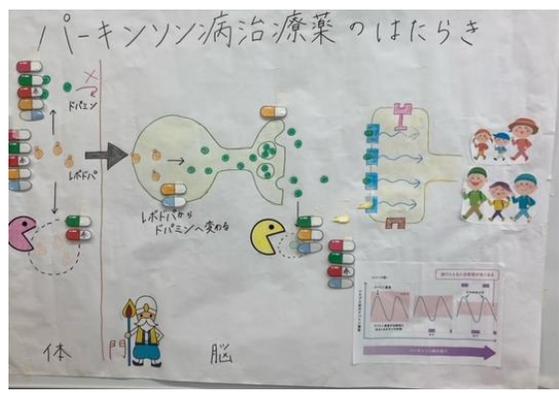
月/日	曜	内 容	ハーモニカ	体操	交流会	会場
4/14	金	特別例会：総会	○	×	○	地域交流館
5/12	金	特別例会：「患者を生きる」	×	×	○	地域交流館
6/9	金	通常例会：体操（井田柔道整復師）	○	○	○	地域交流館
7/14	金	通常例会：交流会「薬について」	○	○	○	地域交流館
8/11	金(祝)	【休会】				
9/8	金	通常例会：音楽健康指導士	×		○	地域交流館
10/13	金	特別例会：ミニ運動会	×	×	×	地域交流館 体育施設
11/10	金	特別例会： (仮)『パーキンソン病のリハビリ』 講師：萩下卓也(理学療法士)あざみ会顧問	×	×	×	地域交流館
12/8	金	通常例会：音楽健康指導士	×		○	地域交流館
1/12	金	特別例会：新年会	○	×	×	地域交流館
2/9	金	通常例会	○	○	○	地域交流館
3/15	金	通常例会	○	○	○	地域交流館
第3金曜日						



パーキンソン病でも
いきいきと生きる



音楽を楽しもう



薬について学ぼう

認知症の理解啓発活動 ～子ども向けの取組み～



小学校への福祉教育

認知症高齢者「釣りがしたい」 から始まった多世代型の居場所 ～釣りプロジェクト～



西鳥取漁港を舞台にした 漁福連携の取組みのひとつ

地域の介護事業所や学校の協力もあり、認知症高齢者、生活困窮者、親子など誰もが参加できる共生型の居場所へ

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業

～不登校や貧困、若年層のひきこもりなど制度の狭間で福祉課題を抱える世帯への支援～

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）と一緒に
“ボッチャ”で笑顔の輪 広げませんか!?



障がい者スポーツ



子どもも高齢者も



ルールも簡単 場所さえあればどこでも



誰もが社会に積極的に参加する機会を提供



車いす当事者とともに
ボッチャの居場所づくりを計画中
CSW主催から当事者主催の居場所へ



子どもから障がい者、高齢者まで
“孤立”の問題が深刻

孤立防止にもつながる
社会参加できる場を
地域とともにを合言葉に今後も展開

誰もが気軽に行えるボッチャ
をつかった居場所づくり
地域住民等と一緒に広げていこうと
担い手募集へ

高齢者に関わる機関で課題となっていた“孤立死”について意見交換

状況	孤独死	孤立死
発見までの日数	1日未満～2, 3日	1か月以上
気づいたきっかけ	隣近所 雨戸	民生委員 郵便物
生前	社会参加もあり、近隣関係も良好	地域からは孤立気味も 関係機関、民生委員等の見守りは あり
死亡後の対応	早期に発見され、救急や警察により、心不全等によるものと診断されれば、鑑定にはまわらない 葬儀等可 死を悼む	発見が遅れれば遅れるほど、身元が確認できない、もしくは事件性ありと判断され、DNA鑑定等にまわり、約1か月半帰ってこない 2月初旬発見、葬儀3月末 推定死亡日時12月末 自責(後悔の念)、他責

R5.1.11 庁内連携会議 テーマ:孤独死 課題等の意見
 ・幼児、児童、学生、成人、高齢者と途切れないような仕組み
 ・支援する側を支援する体制 ・民間のICTの活用 ・エンディングノートの作成
 ・自分のことを気軽に話せる居場所 など

庁内全課＋総合相談や地域づくりをおこなう機関が集まったの話しあいの場での投げかけ
 各課でできることはなにか 課を超えての協力体制づくり